

佐土原町商工会
中小企業景況調査報告書

平成28年10月～12月期

平成29年2月17日

佐土原町商工会

佐土原町商工会中小企業景況調査報告書

平成28年10月～12月期

1. 調査要領

【調査対象】

- (1) 対象地 佐土原町
(2) 回答企業数 80企業

【調査対象期間】 平成28年10月～12月を対象

【調査月】 平成29年1月

【調査方法】 佐土原町商工会会員による経営状況に関するアンケート調査

【調査データ産業別構成】

(1) 産業別構成







業種	回答企業数	構成比
サービス業	20	25.0%
小売業	20	25.0%
製造業	20	25.0%
建設業	20	25.0%
合計	80	100%

(2) 従業員数別構成

従業員数	回答企業数	構成比
0人	8	10.00%
1～5人	37	46.25%
6～10人	17	21.25%
11～20人	9	11.25%
21人以上	9	11.25%
合計	80	100%

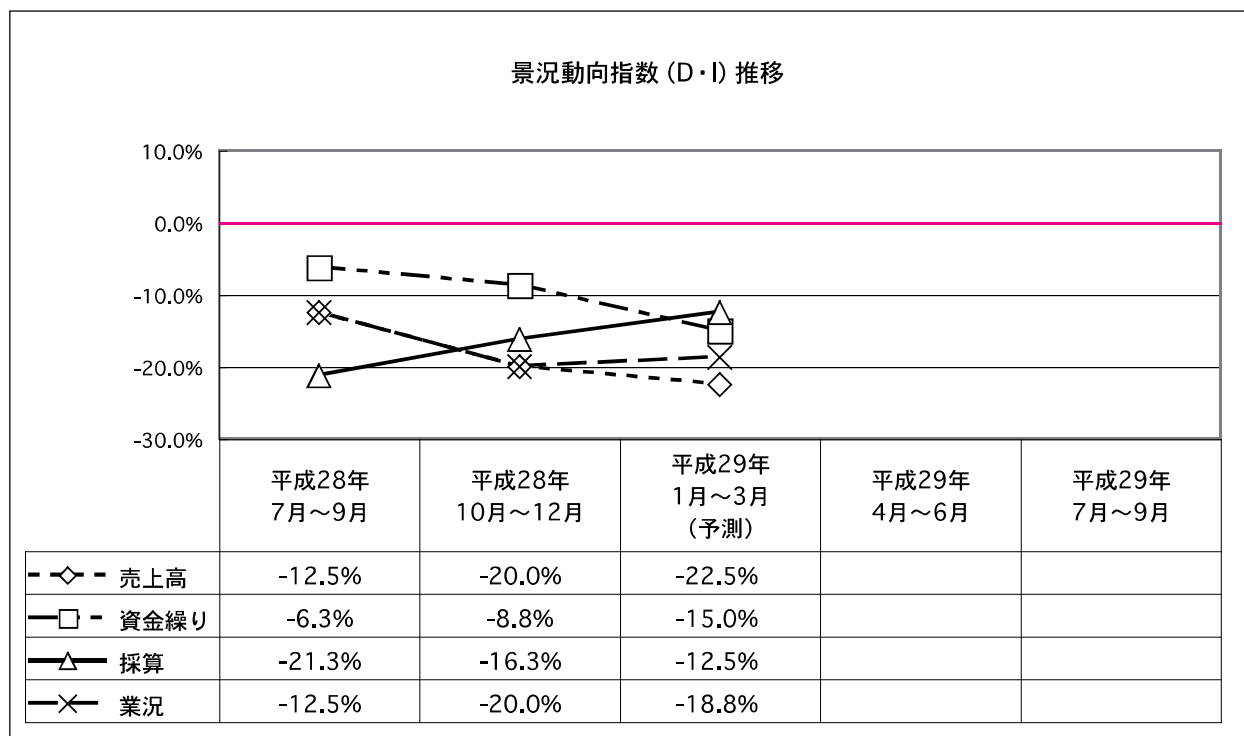
【その他】DI値と天気マーク

本報告書中のDI値とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

					
30%≦DI (特に好調)	15%≦DI<30% (好調)	0%≦DI<15% (やや好調)	-15%<DI<0% (やや不振)	-30%<DI≦-15% (不振)	DI≦-30% (きわめて不振)

2. 全業種の景況

①景況感の推移

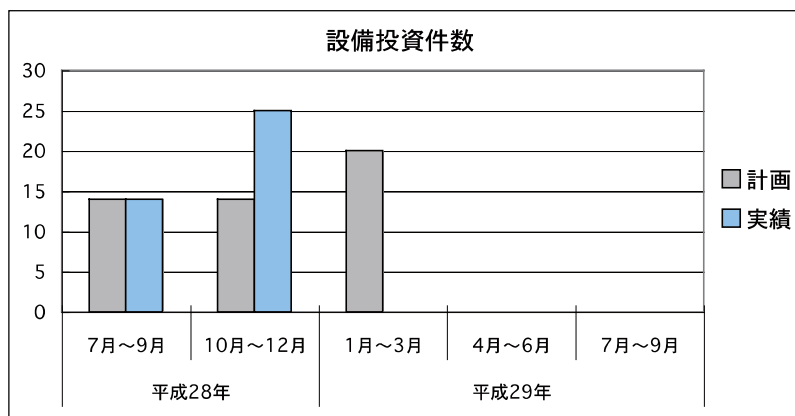


②景況の概況

	平成 28 年	平成 29 年	予測傾向
	10月～12月	1月～3月(予測)	
売上高			⇒
資金繰り			⇩
採算			⇧
業況			⇒

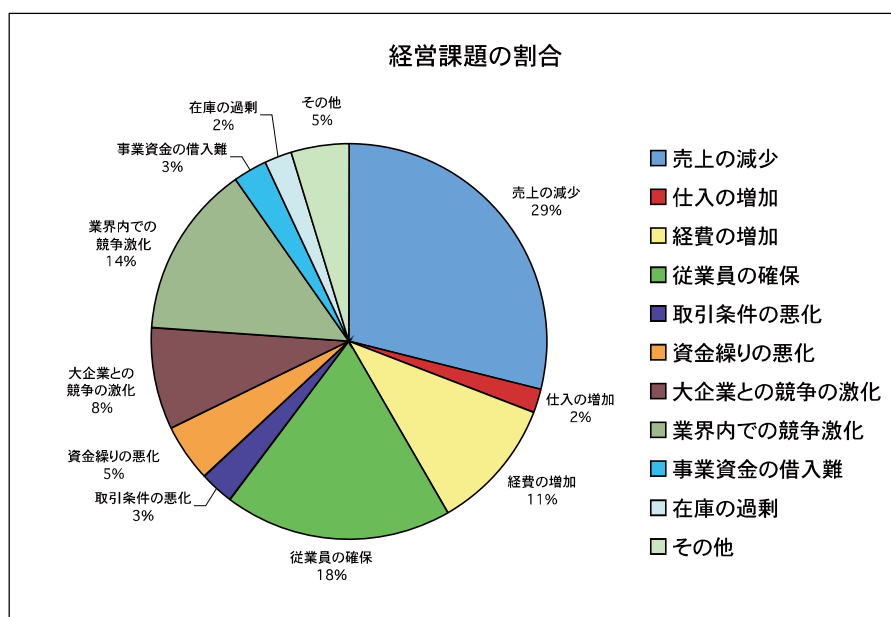
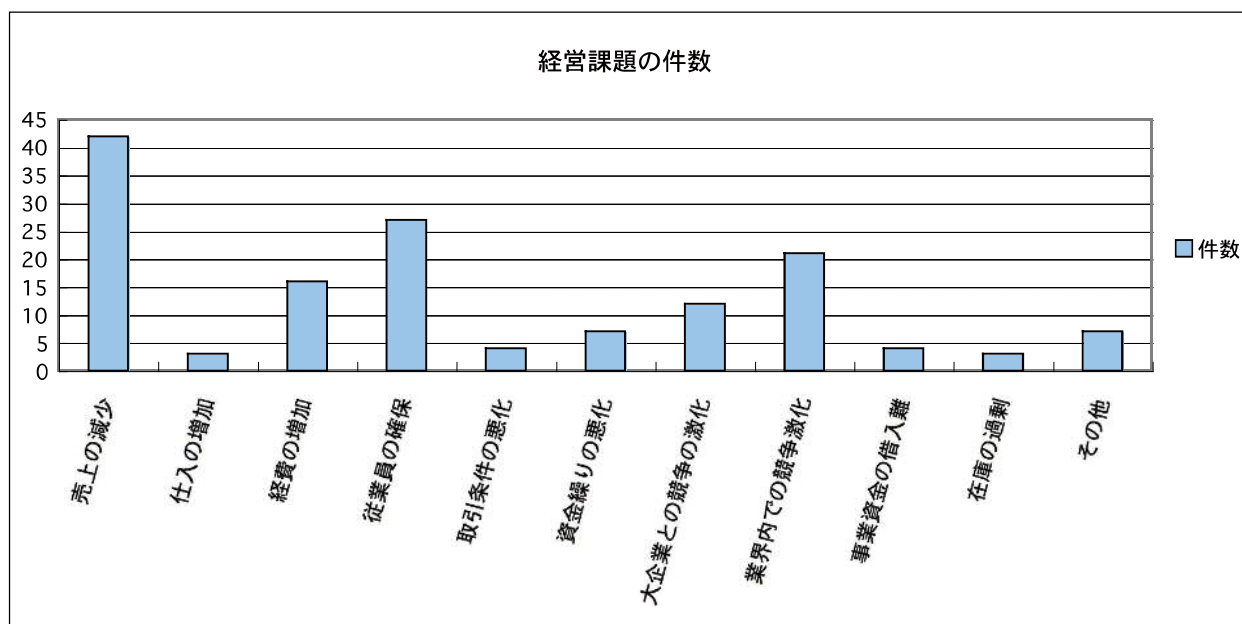
- 今期の景況動向指数(DI値)は、「売上高/▲20.0%」「資金繰り/▲8.8%」「採算/▲16.3%」「業況/▲20%」と採算を除いて前期より若干悪化傾向。
- 来期への予測としては、「売上高/▲22.5%(-2.5P)」「資金繰り/▲15%(-6.2P)」「採算/▲12.5%(+3.8P)」「業況/▲18.8%(+1.2P)」で若干ではあるが更なる悪化傾向となっており、期待される景況感の改善は見込めない状況と推測される。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施は25件で予想を大幅に上回る結果。投資内容は下記の通り(複数回答)
・土地(3)・建物(2)・付帯施設(4)
・建設機械(3)・OA機器(9)
・車両/運搬具(9)・その他(2)
- 来期の設備投資計画は20件。投資内容は下記の通り(複数回答)
・土地(1)・建物(4)・付帯施設(4)
・建設機械(2)・OA機器(5)
・車両/運搬具(4)・その他(3)

④ 経営課題



- 経営課題の上位 3 位は
 <1 位>
 「売上の減少 / 29%」
 <2 位>
 「従業員の確保 / 18%」
 <3 位>
 「業界内での競争激化 / 14%」
- 「売上の減少」について危機
 する回答が約3割を占め景気
 の停滞がうかがえる結果。
- 前期と比較して「従業員の
 確保」の課題および「業界内
 での競争の激化」の課題が増
 加している。
- その他の課題には、「高齢化
 と後継者問題」「設備の老朽
 化」「人材育成」など。

⑤ 全企業概況

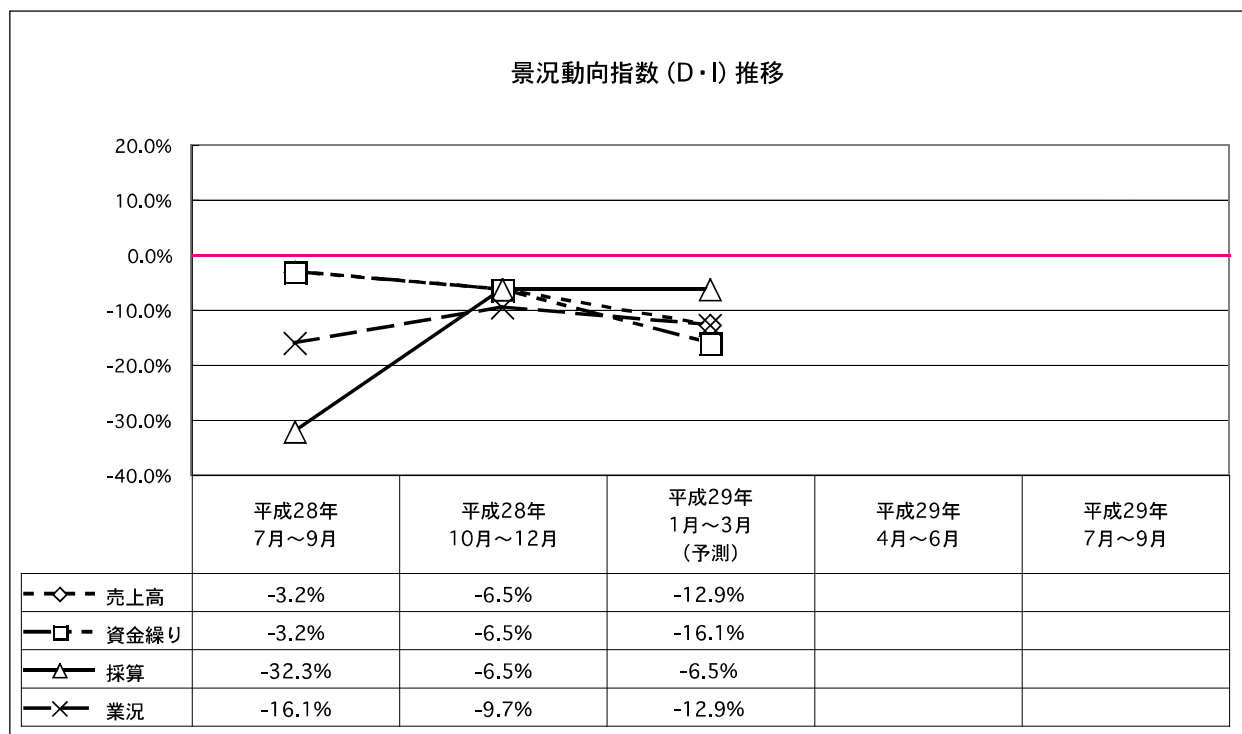
平成28年10月～12月の景況感は「売上高」「資金繰り」「採算」「業況」すべての指標においてのDI値が前期同様マイナスの領域であり、相対的には若干の悪化傾向となった。特に経営の源泉である「売上高」が▲20%であり、前期と比較して-7.5P低下する結果となった。本来であれば10月～12月は、景況感の高まりが期待されていく時期ではあるがその傾向は顕れておらず、厳しい市場環境が浮き彫りになっていると判断される。来期に向けての景況感は、さらに悪化傾向が予想されており、根深い不景気感が払拭されない厳しい市場環境が継続すると推測される。今後、行政が打ち出す景気浮揚対策などの施策や効果が期待される。

宮崎県全体の今期の傾向としては、「売上高」について若干の改善はみられたがその他の指標は悪化傾向であり、すべての業種で景況感が低下する結果となった。特に、前期まで好調さを堅持して来た建設業においても一部の指標でマイナス域への悪化傾向が顕れており、今後の動向が懸念される。

来期に向けての予想は、「採算」では改善が見込まれているがその他の指標は悪化傾向であり、特に「売上高」については比較的大きく悪化することが予想されて、今後も厳しい市場環境が継続すると推測される。

3. サービス業の景況

①景況感の推移

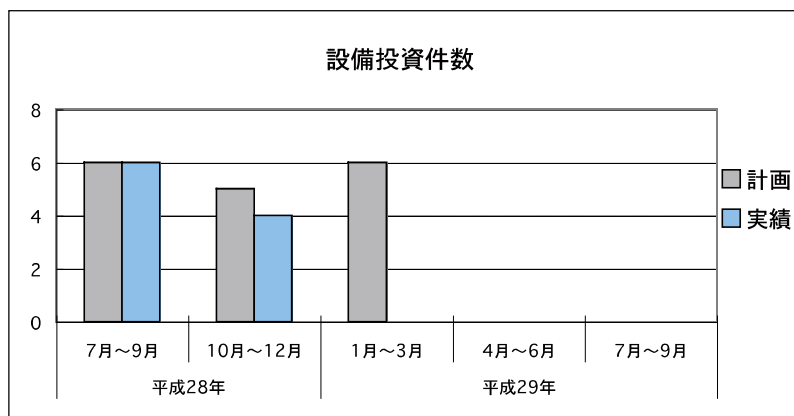


②景況の概況

	平成 28 年	平成 29 年	予測傾向
	10月～12月	1月～3月(予測)	
売上高			⇒
資金繰り			⇓
採算			⇒
業況			⇒

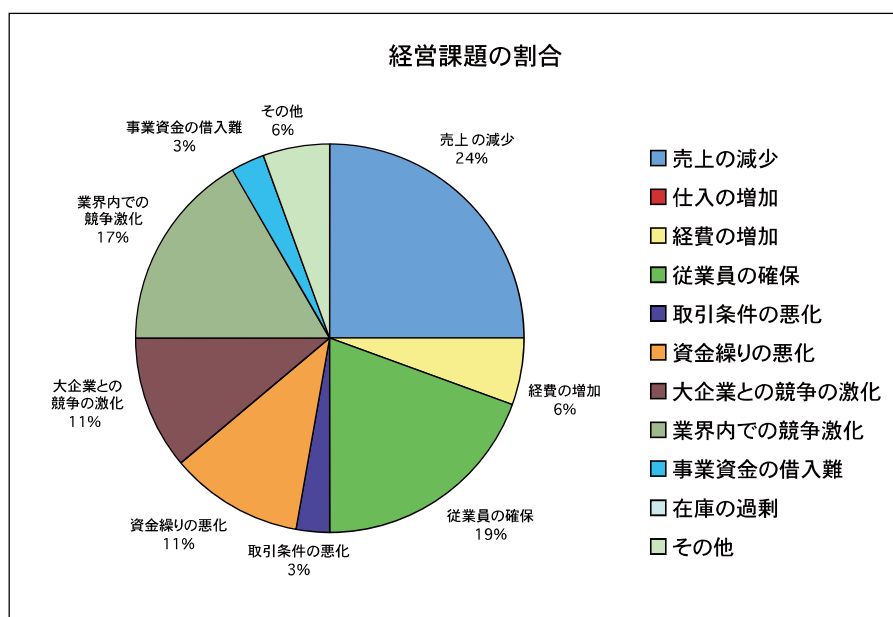
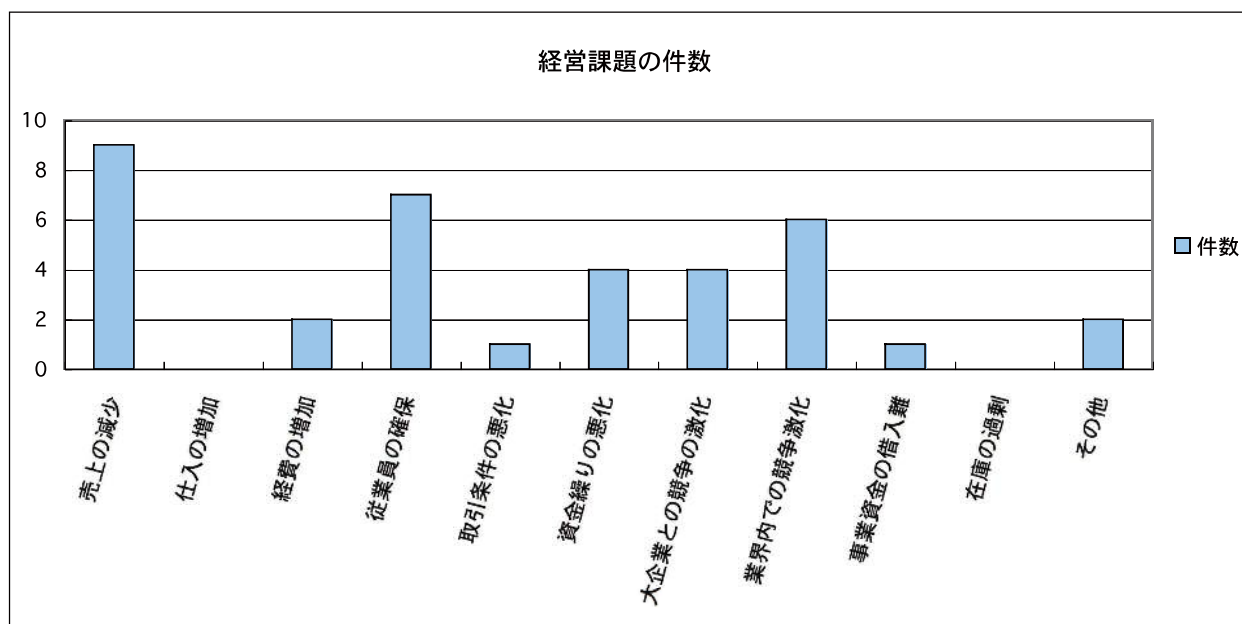
- 今期の景況動向指数(DI値)は、「売上高・資金繰り・採算/▲6.5%」「業況/▲9.7%」であり「採算」については前期より大幅に改善したが「売上高・資金繰り」については若干悪化の傾向であり全体的に低調の状況。
- 来期への予測としては、「売上高/▲12.9%(-6.4P)」「資金繰り/▲16.1%(-9.6P)」「採算/▲6.5%(±0P)」「業況/▲12.9%(-3.2P)」であり、全体的に悪化傾向と推測される。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施は 4 件で予想を若干下回る結果。投資内容は下記の通り(複数回答)
・土地 (1) ・建設機械 (1)
・付帯施設 (1) ・OA 機器 (1)
・車両/運搬具 (1)
- 来期の設備投資計画は 6 件投資内容は下記の通り(複数回答)
・建物 (2) ・付帯施設 (2)
・建設機械 (1) ・その他 (1)
・車両/運搬具 (2)

④ 経営課題



- 経営課題の上位3位は
 - <1位>「売上の減少／24%」
 - <2位>「従業員の確保／19%」
 - <3位>「業界内での競争激化／17%」
- 「売上の減少」についての課題が前期と比較して若干減少の傾向。
- 「従業員の確保」および「業界内での競争の激化」の課題が増えて来ており仕事量増加または復調の兆しが見られる。

<その他の経営課題>

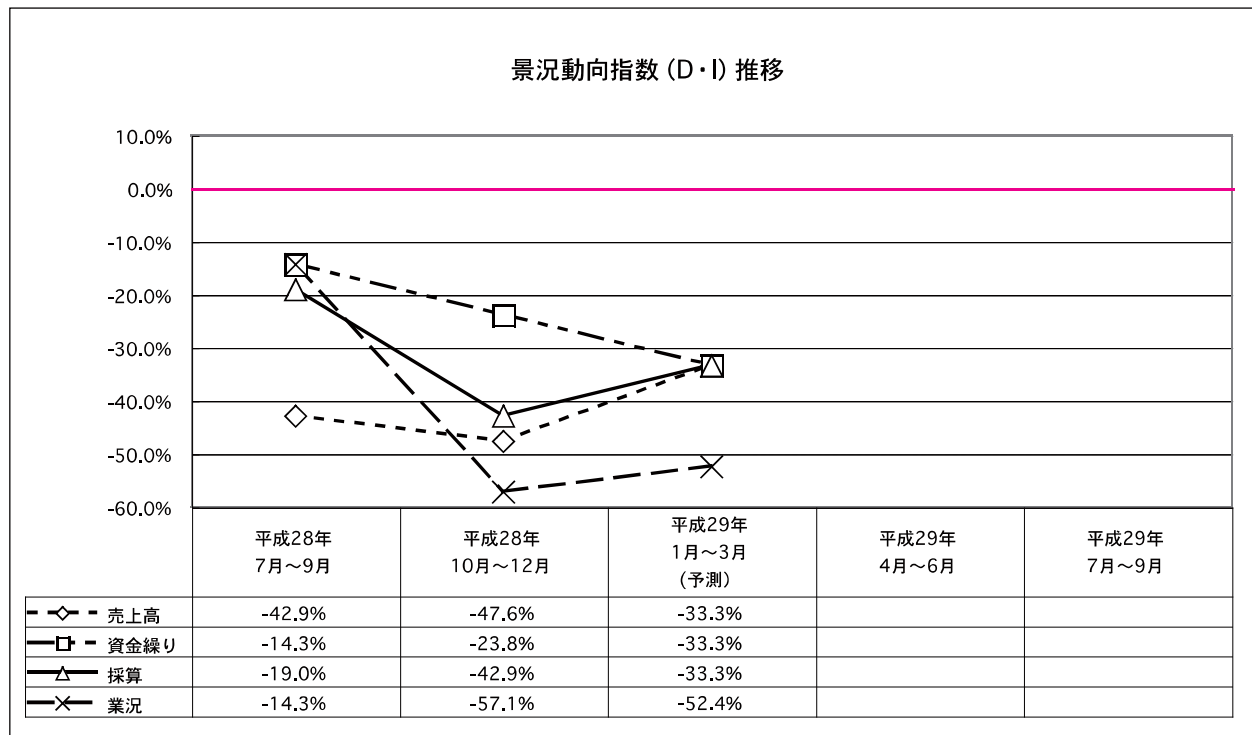
- 事業主の高齢化と後継者問題

<商工会への経営支援>

- 社員教育に良い教材があれば希望したい
- 経営改善に向けた支援

4. 小売業の景況

①景況感の推移

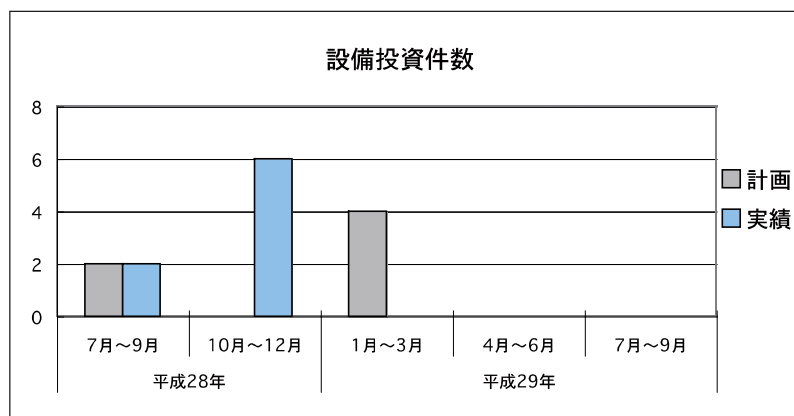


②景況の概況

	平成 28 年	平成 29 年	予測傾向
	10月～12月	1月～3月(予測)	
売上高			⇒
資金繰り			⇓
採算			⇒
業況			⇒

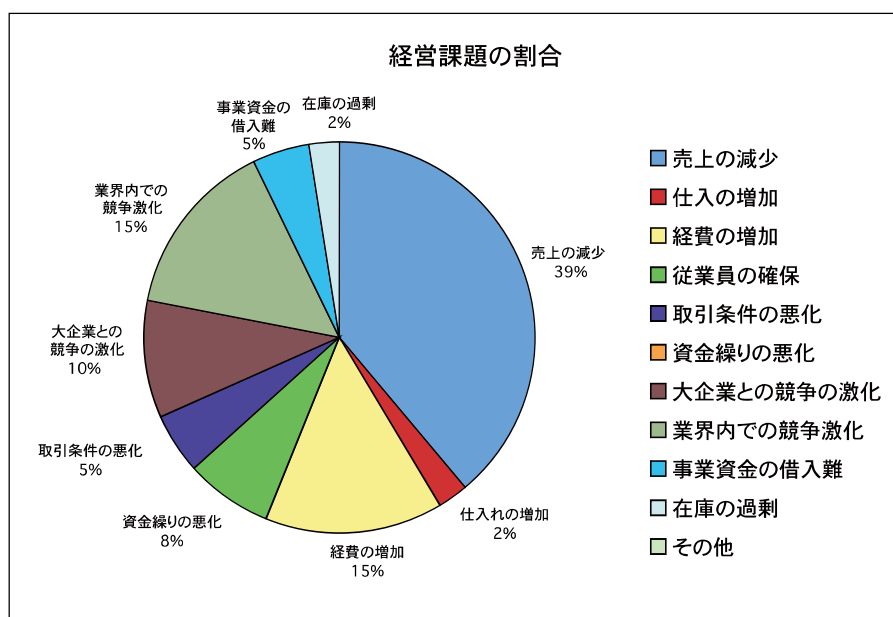
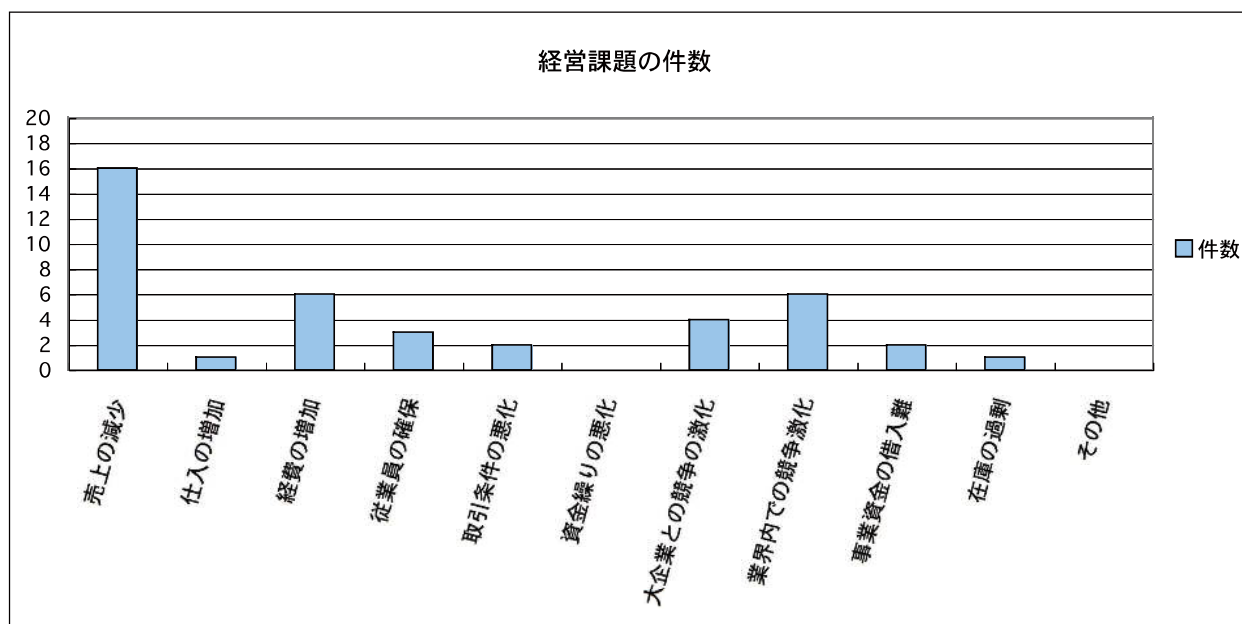
- 今期の景況動向指数(DI値)は、「売上高/▲47.6%」「資金繰り/▲23.8%」「採算/▲42.9%」「業況/▲57.1%」であり、すべての指標で前期と比較して大幅な低下となり厳しい結果。
- 来期への予測としては、「売上高/▲33.3%(+14.3P)」「資金繰り/▲33.3%(-9.5P)」「採算/▲33.3%(+9.6P)」「業況/▲52.4%(+4.7P)」と回復傾向ではあるが、全体的に厳しい状況が継続すると推測される。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施は 6 件で予想を大きく上回る結果。投資内容は下記の通り(複数回答)
・土地 (1) ・建物 (1)
・車両/運搬具 (3)
・OA 機器 (3) ・その他 (1)
- 来期の設備投資計画は 4 件
投資内容は下記の通り
・建物 (1) ・OA 機器 (1)
・車両/運搬具 (1)
・その他 (1)

④ 経営課題



● 経営課題の上位3位は

- <1位>「売上の減少／39%」
- <2位>「経費の増加／15%」「業界内での競争激化／15%」
- <3位>「大企業との競争激化／10%」

● 「売上の減少」について危惧する回答が前期よりも増加。(約4割)

● 「経費の増加」等コスト意識に関する懸念も多く見受けられる。

● 「業界内および大手等と競争の激化」を懸念する声も多く、激しい顧客争奪の様子が感じられる。

<その他の経営課題>

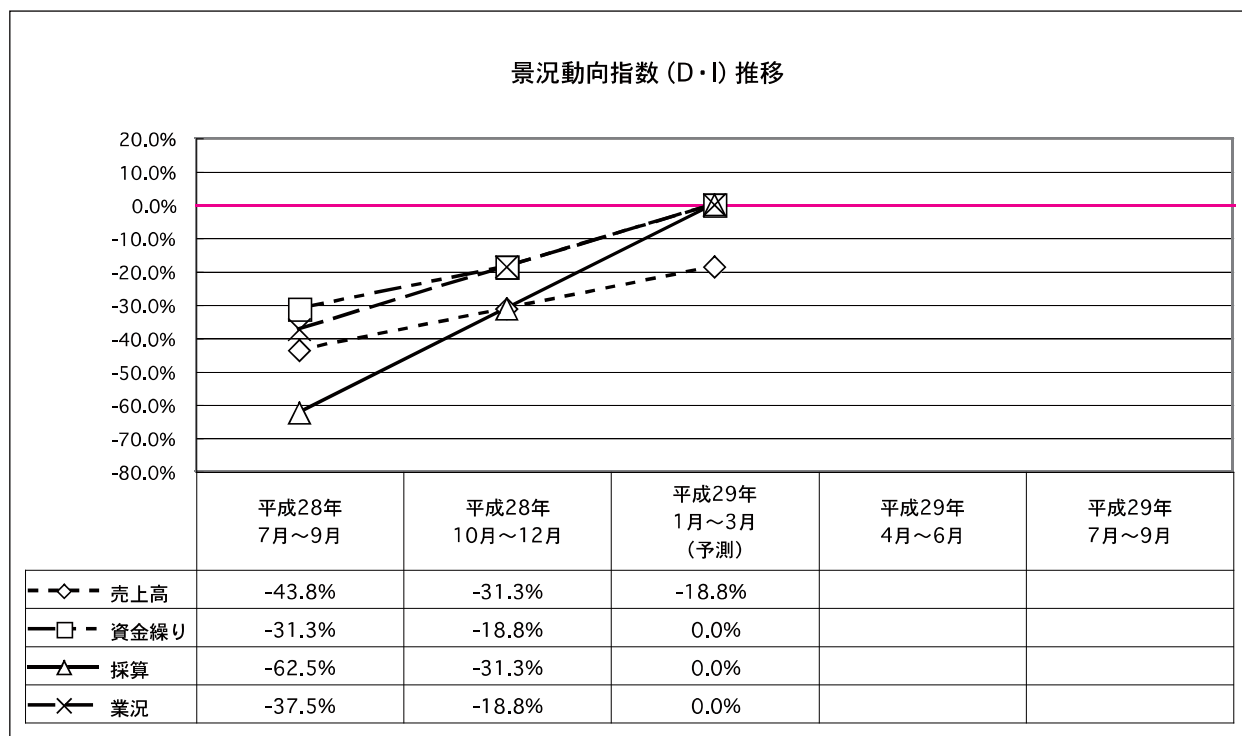
- 特になし

<商工会への経営支援>

- 佐土原町をPRするイベントの開催
- 認知度の向上、販路拡大

5. 製造業の景況

①景況感の推移

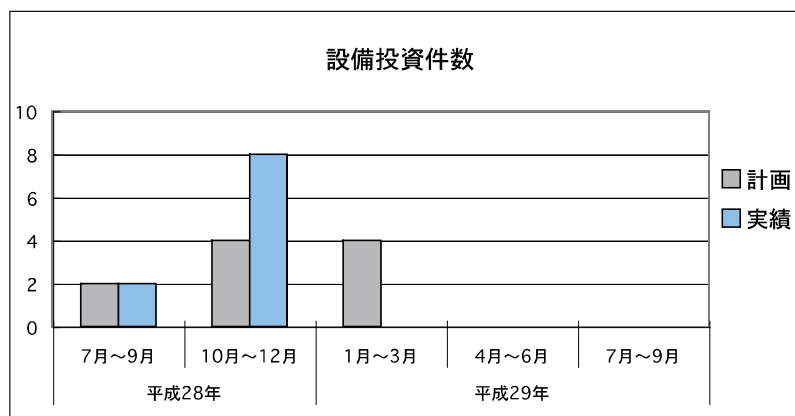


②景況の概況

	平成 28 年	平成 29 年	予測傾向
	10月～12月	1月～3月(予測)	
売上高			↗
資金繰り			↗
採算			↗
業況			↗

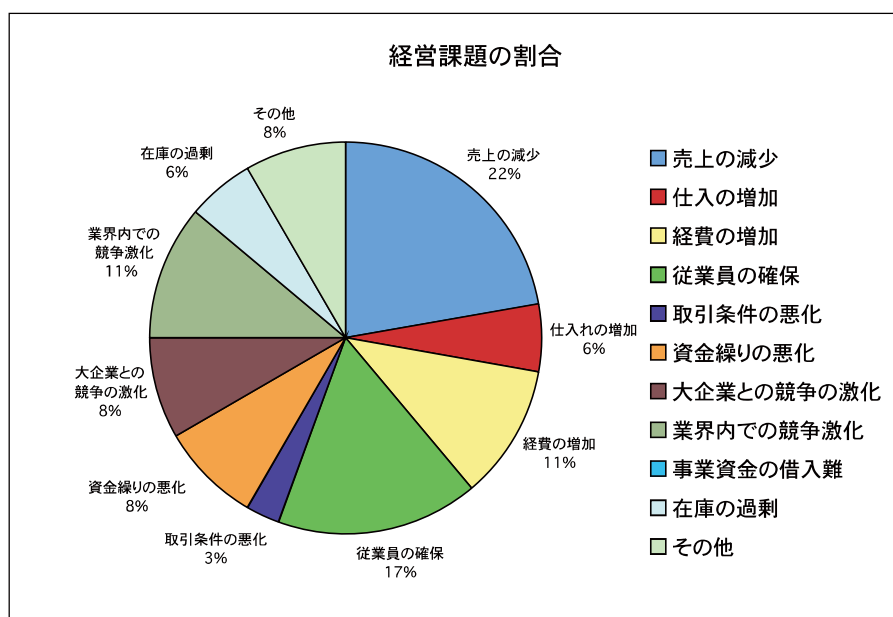
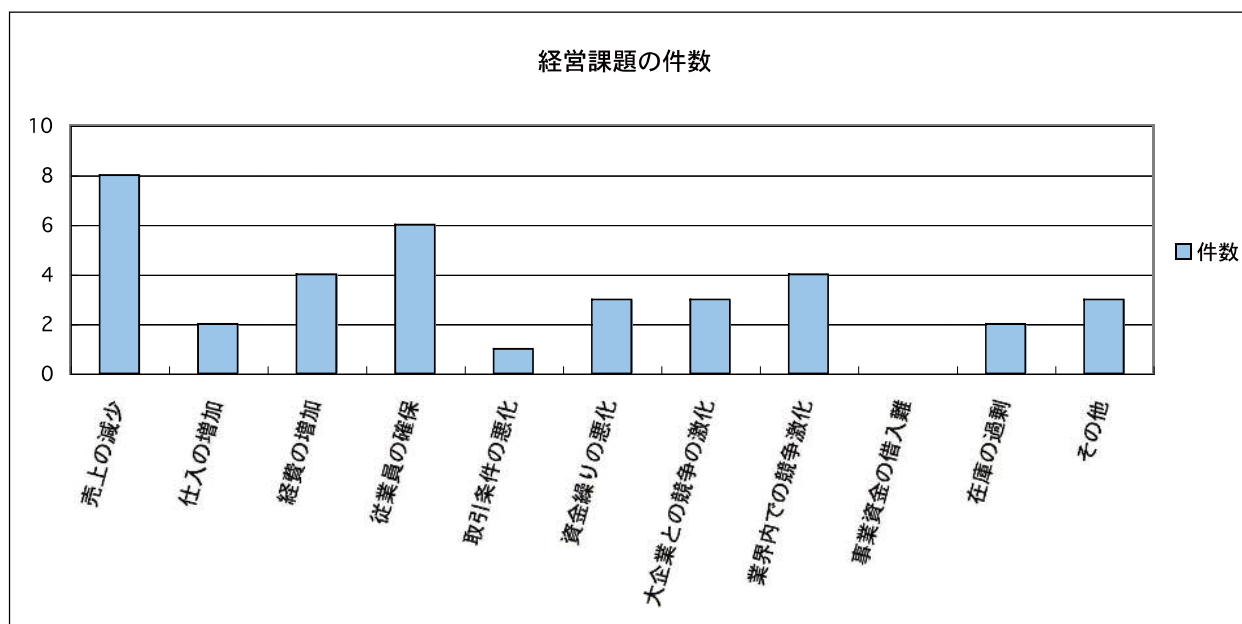
- 今期の景況動向指数(DI値)は、「売上高/▲31.3%」「資金繰り/▲18.8%」「採算/▲31.3%」「業況/▲18.8%」であり厳しい状況下ではあるが、前期より大幅な改善傾向となった。
- 来期への予測としては、「売上高/▲18.8%(+12.5P)」「資金繰り/0%(+18.8P)」「採算/0%(+31.3P)」「業況/0%(+18.8P)」とすべての指標においてさらに大きく改善する予測であり回復基調と推測。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施は 8 件で予想を大きく上回る結果。投資内容は下記の通り(複数回答)
 - ・ 土地 (1) ・ 建設機械 (1)
 - ・ 車両/運搬具 (3)
 - ・ 付帯施設 (3) ・ その他 (1)
- 来期の設備投資計画は 4 件 投資内容は下記の通り
 - ・ OA 機器 (1) ・ 付帯施設 (2)
 - ・ その他 (1)

④経営課題



●経営課題の上位3位は

- <1位>「売上の減少／22%」
- <2位>「従業員の確保／17%」
- <3位>「経費の増加／11%」「業界内での競争の激化／11%」

●「売上の減少」への課題が前期より減少し、「従業員の確保」に関する課題が増加。

●「経費の増加」や「業界内での競争の激化」など収益性を意識した課題が多く見受けられる。

<その他の経営課題>

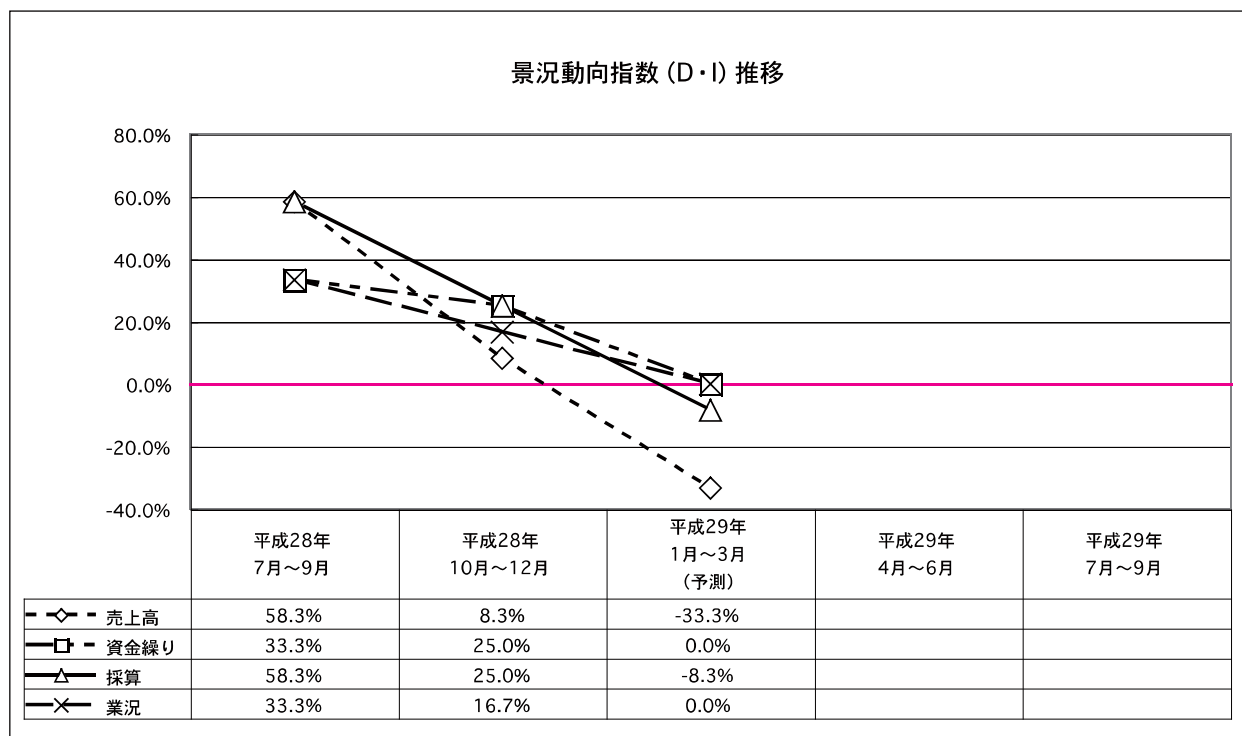
- 設備の老朽化
- 人材育成

<商工会への経営支援>

- 様々な情報をタイムリーに入手したい

6. 建設業の景況

①景況感の推移

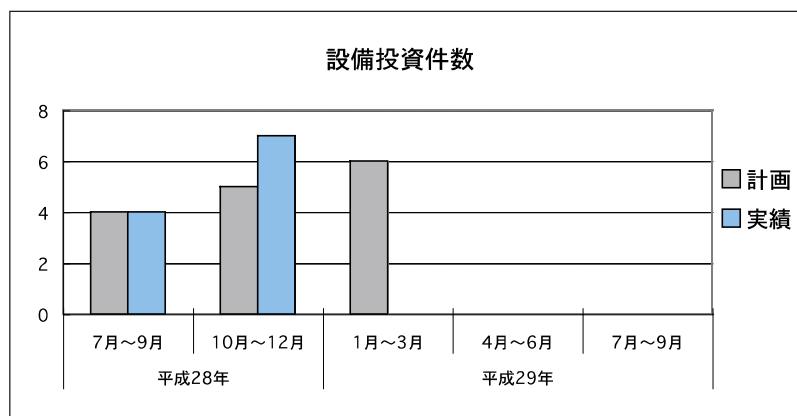


②景況の概況

	平成 28 年	平成 29 年	予測傾向
	10月～12月	1月～3月(予測)	
売上高			↘
資金繰り			↘
採算			↘
業況			↘

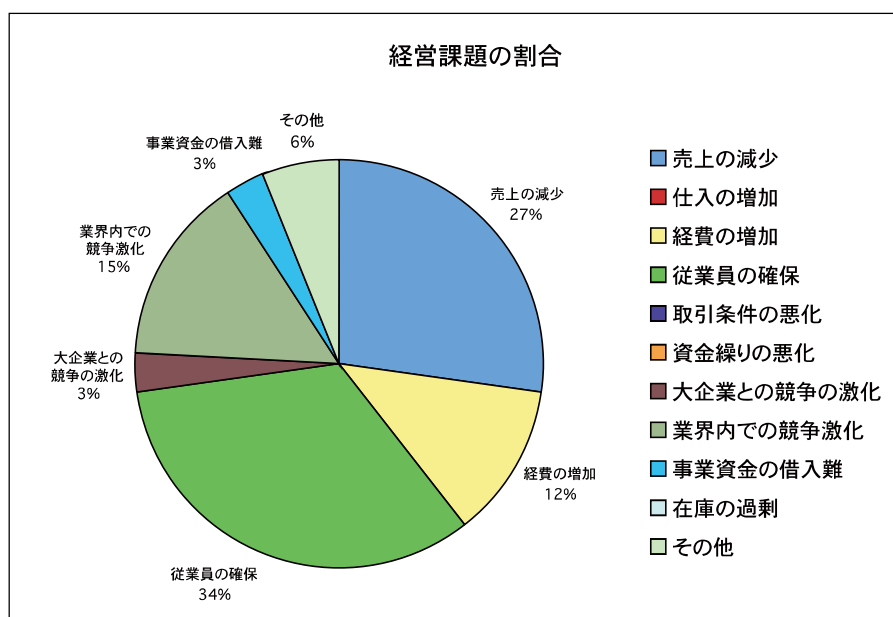
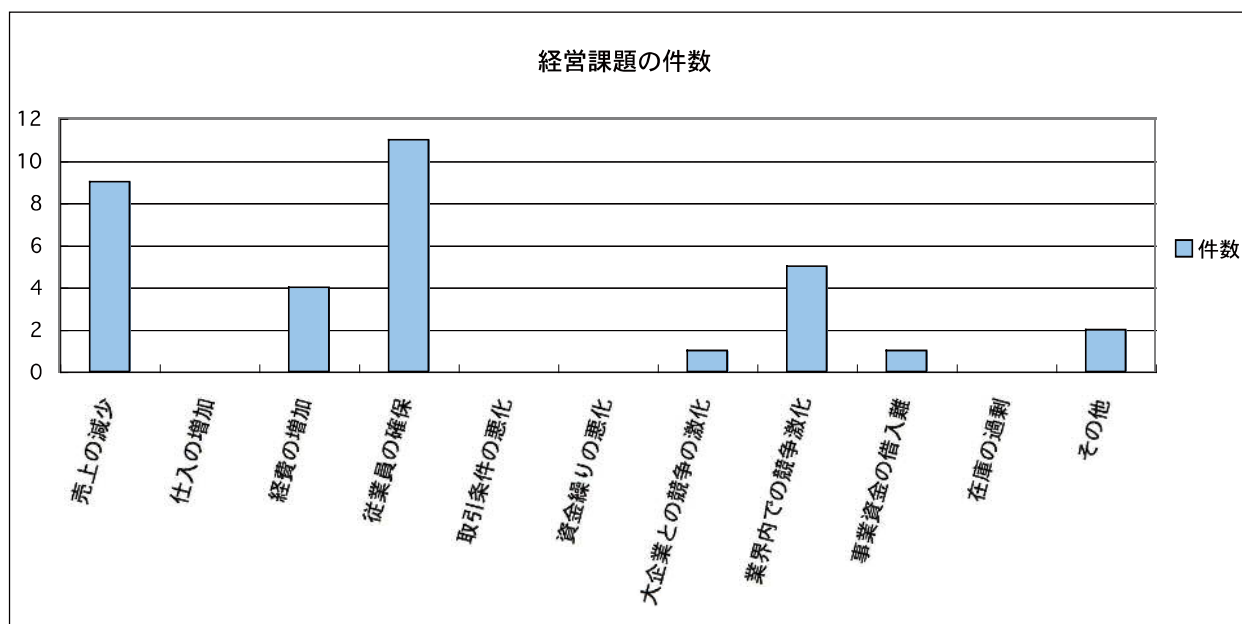
- 今期の景況動向指数(DI値)は、「売上高/8.3%」「資金繰り/25.0%」「採算/25.0%」「業況/16.7%」でありすべての指標で大幅に悪化傾向。
- 来期への予測としては、「売上高/▲33.3%(-41.6P)」「資金繰り/0%(-25P)」「採算/▲8.3%(-33.3P)」「業況/0%(-16.7P)」と全指標でさらに大幅な悪化を予測。特に「売上高」「採算」の悪化が激しく、今後の経営の安定性が懸念される状況。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施は7件で予想を若干上回る結果。投資内容は下記の通り(複数回答)
 - ・建物 (1) ・OA 機器 (5)
 - ・建設機械 (1) ・車両/運搬具 (2)
- 来期の設備投資計画は6件 投資内容は下記の通り(複数回答)
 - ・土地 (1) ・建物 (1)
 - ・建設機械 (1) ・OA 機器 (3)
 - ・車両/運搬具 (1)

④経営課題



●経営課題の上位3位は

- <1位>「従業員の確保／34%」
- <2位>「売上の減少／27%」
- <3位>「業界内での競争の激化／15%」

●「従業員の確保」の課題が若干減少し、「売上の減少」の課題が増加。

●「業界内での競争の激化」の課題も増加傾向にあり、上記の内容と合わせて前期まで好況傾向であった市場が一息ついている状況と推測される。

<その他の経営課題>

- 大型物件とゼネコン単価次第で業績が変わる

<商工会への経営支援>

- 補助金や特許取得のサポート
- 人材確保のための補助金などの相談

7. 景況概要のまとめ(業種別)

① サービス業

今期の結果は、前期と比較して「採算」の指標においては大きく改善しているが、その他の指標においては足踏み状態であり、相対的に「やや不振」の状況が継続していると判断される。

また、今期の結果は前期の予想値とほぼ一致しており、参加企業の市場環境把握が適切におこなわれていることを裏付けている。しかしながら年間で最も「売上高」の改善が期待される時期であるにもかかわらず、今期の結果は厳しい市場環境の根深さを痛切に感じる内容となっている。

来期に向けての景況感の予想は、今期同様もしくは若干の悪化傾向と予測されており、厳しい状況が今後も継続すると推測される。

宮崎県内のサービス業の今期の傾向も「売上高」「採算」「資金繰り」で悪化傾向となっているが、来期に向けてはすべての指標で改善予測となっており、全体的には弱い回復基調と推測される。

全国的には前期と比較すると若干の悪化傾向であり、来期に向けてもさらに悪化傾向が強まると予測されている。

② 小売業

今期の結果は、前期と比較してすべての指標で大幅な悪化となり「極めて不振」の状況と判断される。特に「業況」の悪化は激しく、前期より-42.8P、また経営の体力である「採算」の指標も-23.9P低下しており、今後の経営の厳しさが懸念される。(前期の予想と今期の結果に大きな差異があり、市場の正確な把握も今後の課題ひとつ) サービス業と同様、年間で最も「売上高」への期待が高まる時期であるにもかかわらず、このような結果であったことは、消費者購買力低下の深刻さの顕れではないかと考えられる。

来期に向けての予想は、「資金繰り」以外の指標で若干の改善傾向にはあるが、「極めて不振」の領域からは脱却できない状況であり、今後も厳しい経営環境が続くと推測される。

宮崎県内の小売業の今期の「売上高」「資金繰り」は改善傾向ではあったが、来期に向けて、若干悪化する傾向と予測されている。全国的にも同様であり、来期に向けて弱めの悪化傾向となっている。

③ 製造業

今期の結果は、「売上高」「資金繰り」「採算」「業況」すべての指標において大幅な改善傾向であり、前期までの「きわめて不調」の領域から脱却する結果となった。特に、経営の体力である「採算」が+31.2Pの大幅な改善であり経営課題も「売上の減少」が減少し、「従業員の確保」が増加する傾向であり、景況感の押し上げが感じられる。

また、今期の結果は前期の予想値とほぼ一致しており、市場環境が適切に把握されていることがうかがえる。

来期に向けての予想は、すべての指標がさらに大幅な回復基調であり、全体の景況感は「やや不調」～「やや好調」の領域に改善される予測となっている。しかし現状では「売上高」が他の指標に追従している状況であり、全体を牽引する状況まで改善されていない点が懸念される部分となる。

宮崎県内の製造業の傾向としては「採算」に若干の改善はみられるが「売上高」「資金繰り」は悪化傾向であり来期に向けてさらに悪化が加速する傾向となっている。全国的には、前期と比較して「売上高」や「資金繰り」で若干の改善傾向が見受けられるが、来期に向けては悪化傾向が予測されている。

④ 建設業

今期の結果は、すべての指標において大幅な悪化傾向となったが、「好調」の領域で踏みとどまった状況である。特に、経営の源泉である「売上高」が前期と比較して-50Pと大きく悪化しており、他の指標を押し下げる結果となっている。経営課題も「従業員の確保」から「売上の減少」に推移しており、マーケットボリュームの不服感またはシュリンク傾向が要因として考えられる。

また、今期の結果は前期の予想値とほぼ一致しており、市場環境が適切に把握されていることがうかがえる。

来期に向けての予想は、すべての指標において悪化傾向が加速し、DI値が「やや不振」の領域に推移することが予測されており、今後の市場動向の注視や経営対策などの対応が必要となると思われる。

宮崎県内の建設業の傾向としても同様の傾向となっており、来期に向けて「売上高」のDI値もマイナス領域に悪化する予想となっている。全国的には、今期の「採算」は改善傾向であるが「売上高」「資金繰り」は悪化傾向であり、徐々にではあるが来期に向けて厳しい市場環境の局面に推移していくことが予想されている。

8. 参考:景況に関するアンケート調査票

平成 28 年度伴走型小規模事業者支援推進事業

経済動向調査 (第 3 四半期)

景況に関するアンケート 調査票

佐土原町商工会

佐土原町商工会では小規模事業者の発展を目的とした経営発達支援事業に取り組んでいます。

その一環としてのアンケート調査です。ご協力をお願いします。

事業所名 _____ 業種 _____ 従業員数 _____ 名

1 経営状況について

問 1. 今期 (10 月～12 月) の経営状況は、前年同期と比較してどうですか？

また、来期 (1 月～3 月) の見通しについてあてはまるものに○を 1 つつけてください。

	今期 (今年) の経営状況			来期 (来年) の見通し		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少
① 売上高						
② 資金繰り						
③ 採算 (経常利益)						
④ 業況 (※)						

(※) 事業所にとっての景気の状態を記載してください。

2 設備投資について

問 2. 設備投資の実績及び予定について、あてはまるものに○を 1 つつけてください。

(1) 今期の設備投資 1. 実施した 2. 実施していない

(2) 来期の設備投資 1. 計画あり 2. 計画していない

(3) 実施した場合、計画ありの場合の投資内容 (あてはまるものに○を 1 つつけてください。)

今期の設備投資				来期の設備投資			
土地	建物	建設機械	車両・運搬具	土地	建物	建設機械	車両・運搬具
付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	その他	付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	その他

3 経営課題について

問 3. 現在の経営課題について、あてはまるものに○をつけてください。(複数回答可: 3 つ以内)

1. 売上の減少 2. 仕入の増加 3. 経費の増加 4. 従業員の確保 5. 取引条件の悪化
 6. 資金繰りの悪化 7. 大企業との競争の激化 8. 業界内での競争激化 9. 事業資金の借入難
 10. 在庫の過剰 11. その他 ()

問 4. 商工会に相談したい経営課題、経営支援の希望がございましたら自由にご記入ください

ご協力ありがとうございました

佐土原町商工会
中小企業景況調査報告書
(平成28年10月～12月期)

平成29年2月発行

佐土原町商工会
〒880-0211
宮崎県宮崎市佐土原町下田島 20732-53
■TEL : 0985-73-2567
■FAX : 0985-73-4975